

修士論文

カusp領域におけるDC電場のロケット観測

DC Electric Field Measurements in the Cusp Region
by SS-520-2 Rocket

渡邊 義史

富山県立大学大学院工学研究科電子情報工学専攻

提出年月 2001年2月

指導教員 岡田 敏美

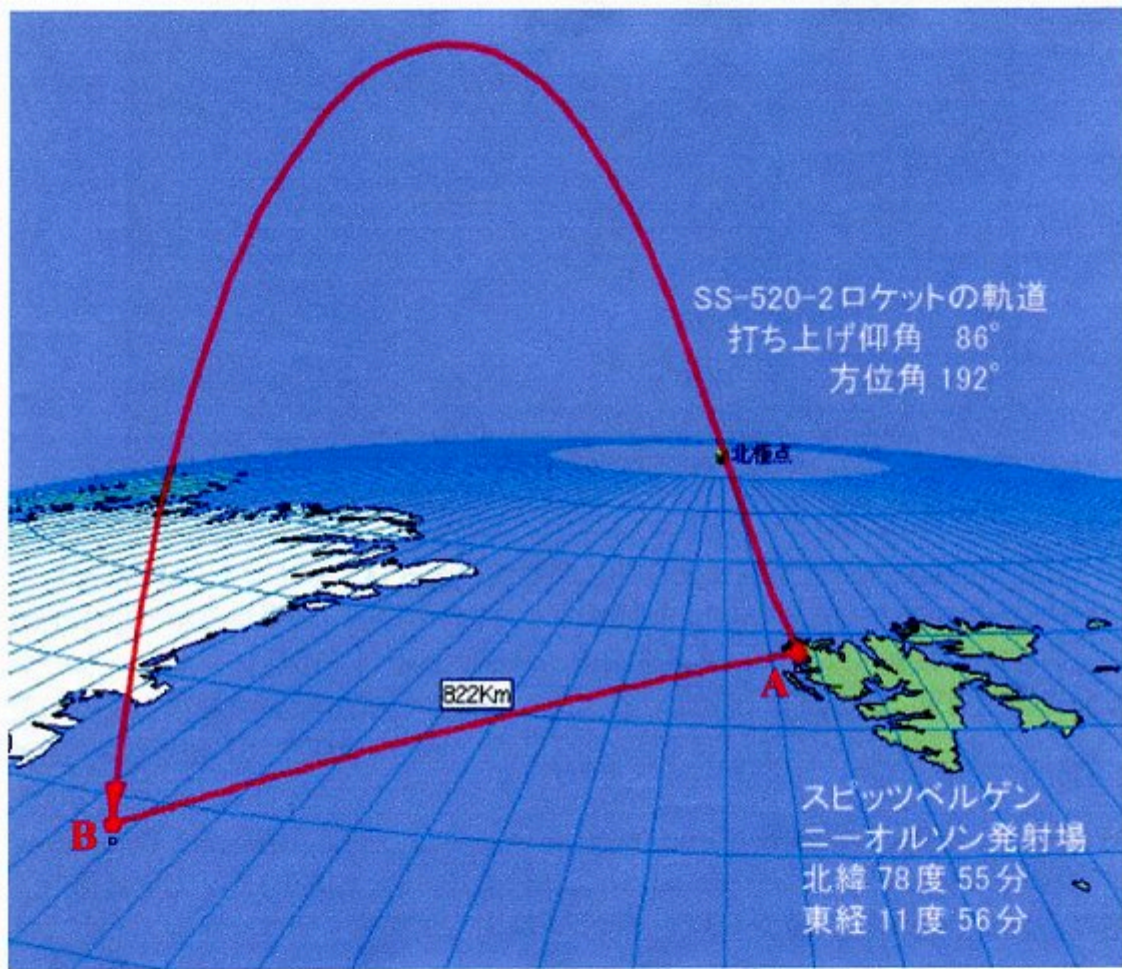


図 3.1: ノルウェー・スピッツベルゲンとロケットの軌道。右下の緑色の島がノルウェー・スピッツベルゲン(スバルバード)島で、A がニーオルソン発射場(北緯 78 度 55 分、東経 11 度 56 分)で B が着水地点である。赤色の線が、SS-520-2 ロケットの軌道と水平面上に投影した軌道である。SS-520-2 ロケットは、打ち上げ仰角 86° 、方位角 192° で打ち上げられ、最高高度 1108km、水平距離 822km、観測時間 1150 秒における観測を行った。